

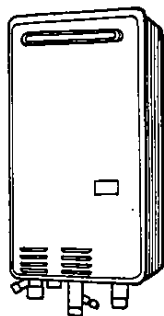
ガス湯沸器

〈セントラルタイプ〉

33-420/421/422型

型式名 GQ-163WS
GQ-163WS-T
GQ-163WS-TB

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

 **大阪ガス**

SAJB372

特長・機能の紹介

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器（セントラルタイプ）

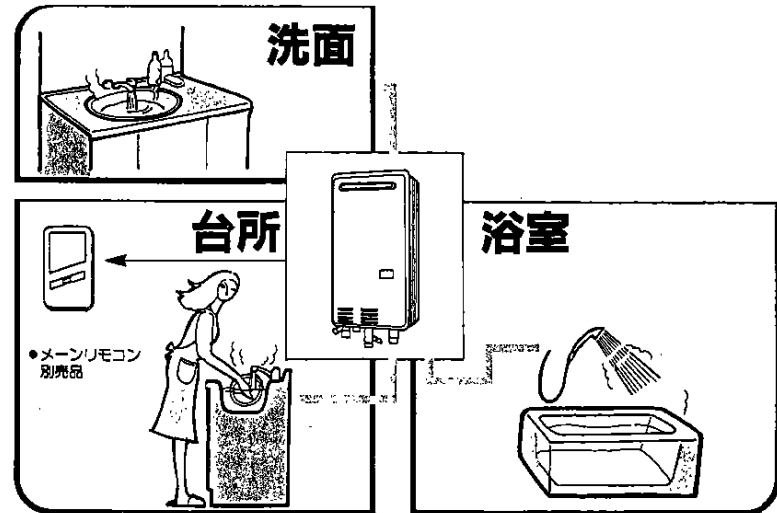
をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●ごあいさつ・もくじ	1
●特長・機能の紹介	2
●必ずお守りください	3
●各部の名まえと扱いかた	7
●初めてお使いいただくときは	8
●使用方法	9
●凍結予防方法	13
●点検・お手入れ	15
●故障かな？と思ったら	16
●仕様	18
●寸法図	19
●保管とアフターサービス	21

1. 家中の給湯はこれ1台でOKです。
2. 厳冬期、気温が下がると自動的に作動し凍結を予防するヒーターが組み込まれています。
3. コンパクト設計でデザインを向上しています。



★給湯のしかた / (別売リモコン使用時)

- ①運転スイッチ「入」
- ②給湯湯温の設定
- ③給湯せん（蛇口）を開ける

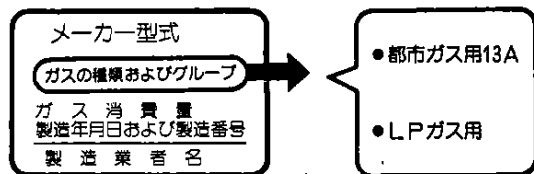
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

●使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具本体の側面にはってある銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

（銘板）



- ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 販売されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

●使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー以外の用途には使用しないでください。

●器具設置についてのご注意

- 器具の設置・工事はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス安社に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

必ずお守りください

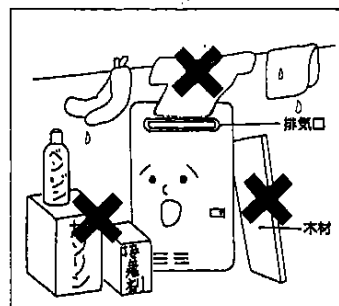
●使用上のご注意

ガス漏れ予防

- 使用後は運転スイッチを「切」にしてください。（リモコン操作の場合）
- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないかときどき確かめてください。

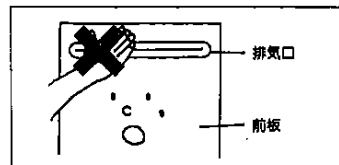
火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、揮発油など）を絶対においだり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。

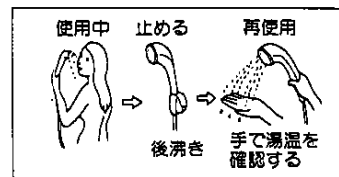


やけどのご注意

- ご使用中および使用後はしばらくは、器具本体と排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいる家庭はご注意ください。



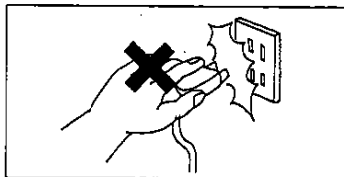
- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。



必ずお守りください

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せを閉じ、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。
(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど、しないでください。



凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。凍結のおそれのある期間は13ページの「凍結予防方法」にしたがって処置をしてください。

凍結したとき

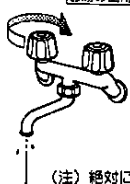
- ①器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、9ページ「使用方法」の項以下の操作を行なってください。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐ使用をやめて電源プラグを抜くか、リモコンが付いている場合は、運転スイッチを切り、ガス元せん・給水元せを閉めてください。(16ページ「故障かな?と困ったら」にしたがって処置を行なってください)

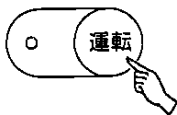
(1)給湯せんをしめる。

給湯の使用箇所

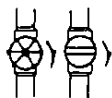


(注)絶対に使用しないでください。

(2)運転スイッチを「切」にする。
(又は電源プラグをコンセントから抜く)



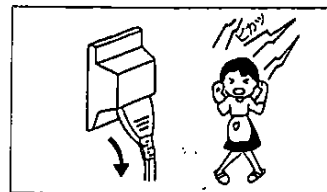
(3)給水元せん・ガス元せをしめる。



必ずお守りください

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、雷雨時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源コードが埋込まれている場合は、元のプレーカで切ってください)
- 雷が過ぎかかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・手入れ

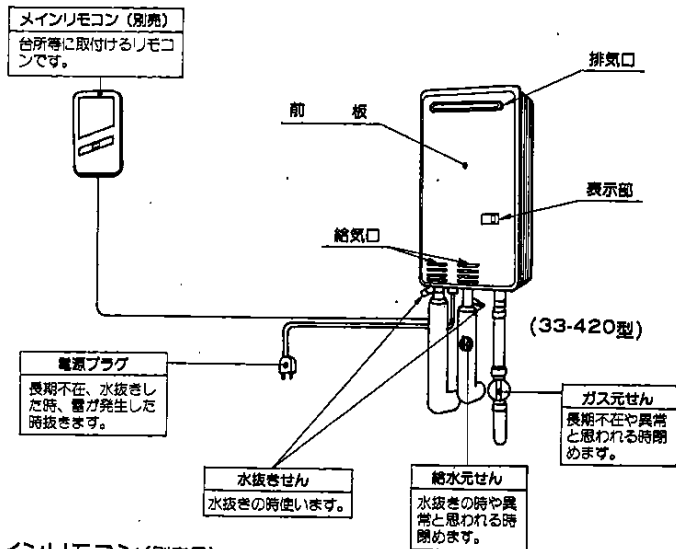
- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは15ページをごらんください)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス社にご連絡ください。

飲用にお使いのとき

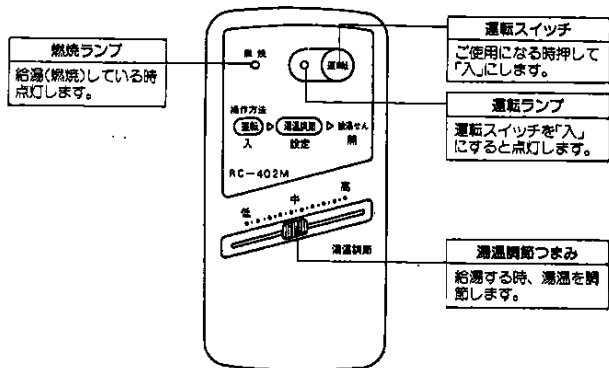
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

各部の名まえと扱いかた

●器具本体



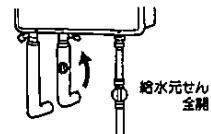
●メインリモコン (別売品)



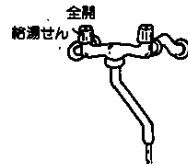
初めてお使いいただくときは…

●ご使用前の準備と確認

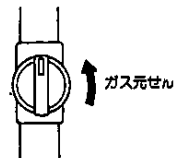
1 給水元せん(器具の下方)を全開にします



2 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めます



3 ガス元せん(器具の下方にあります)を全開にします



4 電源プラグ(器具の周辺にあります)をコンセントに差し込みます

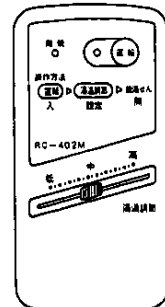
- リモコンレス(器具本体のみ)の組合、給湯せんを開けるとフロントカバー右下表示部の運転ランプ(緑色)が点灯します。



5 「運転」スイッチを押し「入」状態にします

(リモコンを取り付けている場合)

- 運転ランプが点灯します。

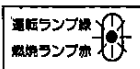


使用方法

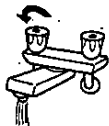
●リモコンレス(器具本体)の場合

1 運転ランプが点灯していることを確かめます

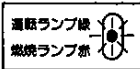
- 前板右下表示部の運転ランプ(緑色)が点灯していない場合は、電源(コンセント)を差し込んで給湯せんを一度開けてください。



2 給湯せんを開けます



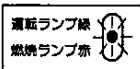
- 前板右下表示部の燃焼ランプ(赤色)が点灯します。
- しばらくしてお湯がでます。(お湯の出る速の時間は配管長さにより変わります)



ご注意!

- ★器具本体のみで使用する時は、給湯湯温は約65℃の高温出湯になります。
- このままでは湯温の調節ができませんので、必ず混合水栓で水と湯を混合してお使いください。
- ★給湯湯温は冬など水温の低い場合には60℃よりも低くなります。また、配管の長さ・外気温・使用ガスの種類により若干変化することがあります。

3 給湯せんを閉めます



- お湯が止まると前板右下表示部の燃焼ランプ(赤色)が消灯し、運転ランプ(緑色)が点灯します。

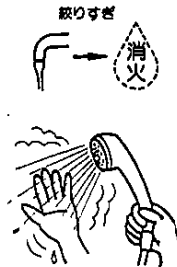
使用方法

4 電源(コンセント)はそのまま差し込んでおきます

- 電源(コンセント)は通常差し込んだままで、抜く必要はありません。次回お使いのとき、そのまま給湯せんの開閉のみの操作ででき便利です。

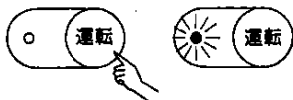
ご注意

- はじめてご使用になるときなどは、配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。このときはお湯が出ず燃焼ランプが点滅します。このような場合は給湯せんを開き、給湯せんを開ける操作を2~3回繰り返してください。
- 給湯せんを絞りすぎる(約2.5ℓ/min以下)と消火することがあります。
- 使いはじめは給湯配管の水を追い出す迄しばらくお湯は出ません。(配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯せんで湯量をしばっていくと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなる場合がありますが、空気ですので心配はありません。
- 2ヶ所でも同時使用されると、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特に、シャワー使用中は同時使用は避けてください。
- シャワーをご使用のときは、いきなり体や顔にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。シャワーをお使いになってお湯を止めた直後や再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには一瞬熱い湯が出る場合があります。



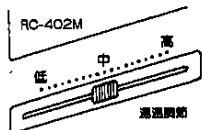
●リモコン操作の場合（別売のメインリモコンが設置されている場合）

1 運転ランプが点灯していることを確かめます



●運転ランプが点灯していない場合は、運転スイッチを押して、「運転」状態にします。

2 湯温調節つまみで温度を調節します



●「湯温調節つまみ」でお好みの温度を決めます。
●「湯温調節つまみ」位置と目安温度の関係は以下の通りです。

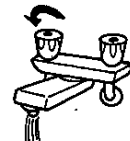
つまみ位置	低	中	高
目安温度(℃)	38	45	75

ご注意

- シャワー使用中、湯温を変えるとやけど等、非常に危険です。
- 特に中～高の間は目安温度が著しく変化しますのでやけど等に注意してください。
- 給湯温度は配管の長さ・外気温により若干変化することがあります。
給湯温度は冬など水温の低い場合には、湯温調節つまみを「高」の位置でも、給湯せんとを全開にしますと、50～60℃位の温度のお湯が出ないことがあります。
- お風呂へのお湯の落とし込みやシャワー使用時には湯温調節つまみを「高」に設定し、水と混合しながら適温にして使用しますと、より多量のお湯が出ますので快適に使用します。
逆に台所等で少量のお湯を使う場合は、リモコンで湯温に調節して給湯せんのみに使用してください。

3 給湯せんを開けます

給湯せんをあける



●燃焼ランプが点灯します。



●しばらくしてお湯がでます。
（お湯の出る迄の時間は配管長さにより変わります）

4 給湯せんを閉めます

給湯せんをしめる



●お湯が止まると燃焼ランプが消灯します。



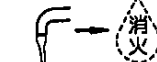
5 「運転スイッチ」はそのまま「入」にしておきます

●通常「入」のままです。「切」にする必要はありません。
次回お使いのとき（湯温が同じでよい場合）そのまま給湯せんの説明のみの操作でできます。

ご注意

- はじめにご使用になるときなどは、配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。このときはお湯が出ず燃焼ランプが点滅します。このような場合は給湯せんとを閉じ、給湯せんとを開ける操作を2～3回繰り返してください。
- 給湯せんとを絞りすぎる（約2.5ℓ/min以下）と熱いお湯が出たり消火することがあります。
- 使いはじめは給湯配管の水を追い出す迄しばらくお湯は出ません。（配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります）
- 給湯せんとで湯量をしぼっていくと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなる場合がありますが、空気で済んで心配はありません。
- 2ヶ所で同時使用されると、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特に、シャワー使用中は同時使用は避けてください。
- シャワーをご使用のときは、いきなり体や顔にはかけず、手で湯温を確認してからお使いください。
シャワーをお使いになつてお湯を止めた直後や再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには一瞬熱い湯が出ることがあります。
- 夏期水温が30℃近くになりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯せんとをさらに開けて湯量を多く出すが、水と混合してお使いください。

絞りすぎ



冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

●凍結予防ヒーターによる方法

- この器具は、外気温がさがってくると自動的に凍結予防ヒーターが器具内を保温します。
- この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。
- ※配管部分の凍結まで予防できませんので、必ず保温材を巻きつけてください。

●通水による方法

- この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。

(給湯時)

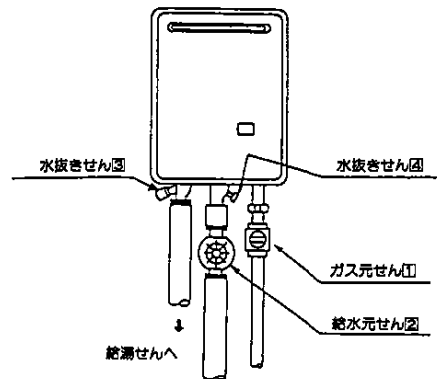
- ①運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんをしめる。(電源プラグは抜かないでください)
 - ②給湯せんをあけ1分間に約200cc以上(牛乳ビン1本くらいい)【特に寒い日は多目に】を流してください。
- ※流量が不安定なことがありますので、念のため30分くらい後にもう一度流量をご確認ください。

●器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

- ①運転スイッチを「切」にして(リモコンが付いている場合)、その後電源プラグを抜く。
 - ②ガスの元せん口をしめる。
 - ③給水元せん口をしめる。
 - ④すべての給湯せんを全開にする。
 - ⑤水抜きせん口を左にまわしてあげる。このとき水抜きせん口は完全にはずしてくだい。
- 以上の操作で器具内の水は排水されますので、水抜きせん口より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
 - 再度使用されるときは、水抜きせん口、およびすべての給湯せんをしめ、給水元せん口をあけすべての給湯せんから水が出るのを確認してからご使用ください。

※現場施工の状況により、「凍結予防ヒーターによる方法」や「器具内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。



点検・お手入れ

●点検・手入れの際のご注意

- 器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- 点検・手入れの際には電源プラグを抜くか、リモコンが付いている場合は、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行ってください。
- 器具及びリモコンはフタを開けしないでください。(故障の原因になりますので絶対に分解しないでください)

●点 検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いていません。
- 排気口や給気口をふさいでいません。

●お 手 入 れ

- 器具やリモコンの表面が汚れたときは、水にぬらしだやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンなどではふかないでください。
- (注) リモコンの内部には電気部品が入っていますので、絶対に水をかけないようにしてください。

点検お手入れ後の確認

- 点検、お手入れの後は電源プラグを差し込み、リモコンが付いている場合は運転スイッチを「入」にして給湯せんを開いて器具が正常に作動しているか確認してください。万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。

定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、2～3年に1回くらいバーナや各部の作動が「正常」かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための、「ひけつ」です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご相談ください。

故障かな?と思ったら

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちに使用を中止し、十分な点検をしてください。

こんなとき	原因							処置方法	お 售 場 ま た	販 売 店 ま た は 大 阪 ガ ス 支 社
	電源プラグが抜かれている	電源プラグが正常に挿し込まれていない	電源プラグが正常に挿し込まれていない	電源プラグが正常に挿し込まれていない	電源プラグが正常に挿し込まれていない	電源プラグが正常に挿し込まれていない	電源プラグが正常に挿し込まれていない			
電源プラグがはずれている	○	○					○	プラグをコンセントに差し込む	*	
ガス元栓の開き不十分		○	○	○			○	ガス元栓を全開にする	*	
給湯元栓の開き不十分			○	○	○	○		給湯元栓を全開にする	*	
配管内に空気が残っている		○	○					点火操作を繰り返す	*	
水ストレーナの詰まり		○	○		○	○		詰まりを除去する	*	
断水している		○					○	給湯使用をいったん中止する	*	
凍結している		○					○	解凍するまで使用を中止する	*	
給気口・バーナ窓口・熱交換器・ノズルの目づまり		○	○	○			○	点検を依頼する	*	
安全装置が作動		○	○				○	点検を依頼する (度々作動する場合は)	*	
電気部品の故障	○	○	○	○	○	○	○	点検を依頼する	*	
停 電	○	○	○				○	再通電するまで待つ	*	

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障かな?と思ったら

● 燃焼ランプの表示をお調べください。

この器具は60分以上連続給湯すると、燃焼が停止し、リモコンの燃焼ランプが断続点滅します。この時は、いったん運転スイッチを切り数秒待った後、再び運転スイッチを「入」にします。
*リモコンがない場合(リモコンを設置していない場合)、器具本体前面部の燃焼ランプにより表示します。

燃焼ランプ	動作	内容	対応処
点灯		給湯側炎(燃焼)検出系統の不具合	※
断続点滅		給湯60分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にして点滅しなければ正常です。
連続点滅		給湯側炎(燃焼)検出系統の不具合	(リモコンがない場合は給湯せんと閉じ湯を止めるが、電源プラグをコンセントから外し再度差し込んでください。)
断続点滅		ファン回転検出系統の不具合	※

(ご注意) *印又は不明な場合はお買い求めの販売店または大阪ガス安社へご連絡ください。

● 次のような場合は故障ではありません。

こんな場合	理由
給湯せんと水を絞らずで水になつた	この器具は流水量が2.5ℓ/min以下になつたときに消火します。
低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとする、湯温が高くなります。給湯せんとともに開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となつて出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い全く無害なものです。
排気部から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約3分間は回転しています。

● 安全装置の種類とその働き

■ 次の安全装置が作動した場合は、電源プラグを抜くか、リモコンの運転スイッチを「切」にし、ガス元せん、給水元せんを閉めてお買い求めの販売店または大阪ガス安社にご連絡ください。

- 立消え安全装置……バーナが正常に燃焼しない時、作動し、ガスを自動的にストップします。
- 過熱防止安全装置……器具内部の燃焼室温度が異常に高くなった時、作動し燃焼を自動的にストップします。
- 熄火安全装置……熱交換器の温度が異常に高くなった時、作動し燃焼を自動的にストップします。
- 凍結予防装置……器具内の燃焼室温度が低下すると作動し、器具内の凍結を予防します。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス安社にご連絡ください。

仕様

商品の呼び		33-420型	33-421型	33-422型
型式の呼び		GQ-183WS	GQ-183WS-T	GQ-183WS-TB
種類	設置方式	屋外設置式		
	給湯方式	先止め式		
点火方式		電子イグナイターによるダイレクト点火		
水圧	使用水圧	1.0~10kg/cm ²		
	作動水圧	0.15kg/cm ²		
最低作動流量		2.5ℓ/分		
外形寸法		高さ515mm×幅280mm×奥行100mm		
重量(本体)		13kg		
接続	給水	R $\frac{1}{2}$		
	給湯	R $\frac{1}{2}$		
	ガス	R $\frac{1}{2}$		
電気関係	電源	AC100V(60Hz)		
	消費電力	38W	都市ガス 48W LPガス 52W	
	電源ケーブルの長さ	2m		
安全装置		空焚き安全装置、立消え安全装置、過圧防止安全装置、熄火安全装置、凍結予防装置(凍結予防ヒーター、水抜きせん)、過熱防止装置		
使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量	(最大消費量) (kcal/h)	出湯能力(能力大) (ℓ/分)	
			上昇温度	
都市ガス 13A	30,000		25℃	40℃
			16.0	10.0
LPガス	2.5kg/h		16.0	10.0

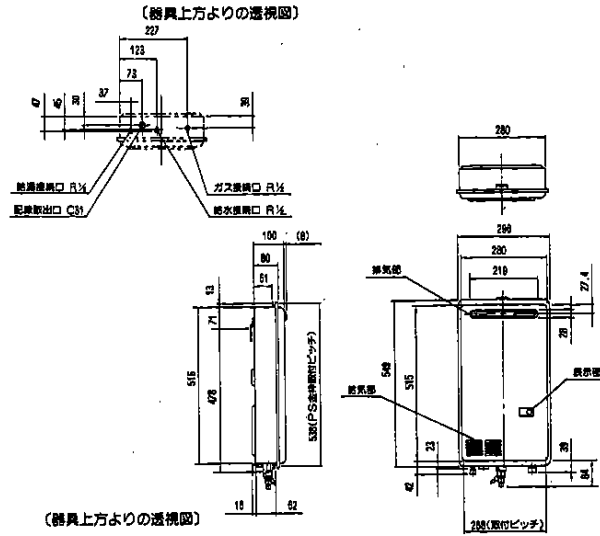
◎本仕様は改修のためお知らせせずに変更することもあります。

◎出湯能力は計算値です。

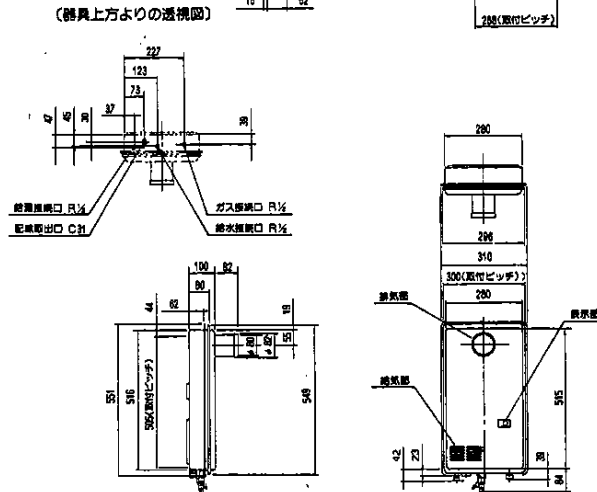
◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

寸法図

- 器具本体
- 33-420型

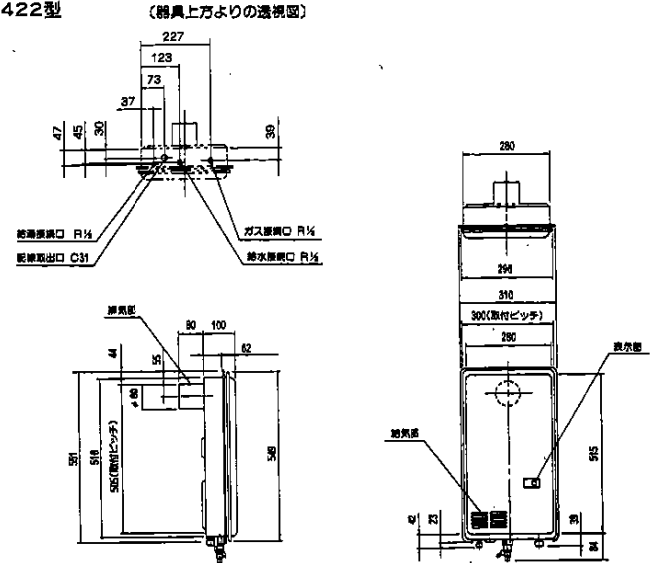


- 33-421型



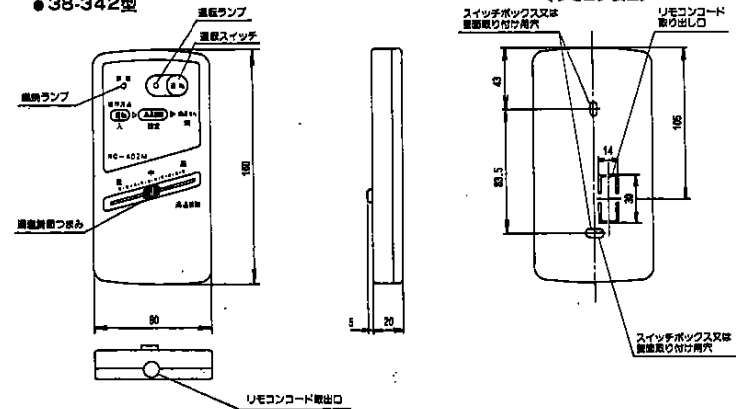
寸法図

- 33-422型



- メインリモコン (別売)

- 38-342型



保管とアフターサービス

メモ欄

●長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1)ガスの元せきを閉じる。
 - (2)給水元せきを閉じる。
 - (3)電源プラグを抜く。
 - (4)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は14ページを参照してください。)

●アフターサービスについて

サービスを依頼される時は

- ①まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- ②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
 1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
 2. 品名……33-420型・33-421型・33-422型(右のようなラベルを器具の正面左中央部に貼付けてあります)
 3. 現象……できるだけ詳しく
 4. 訪問ご希望日

(例)

(N)33-420(U)

大阪ガス株式会社 06

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、器具の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

- このガス湯沸器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス湯沸器の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。